2部復帰への試練と躍進

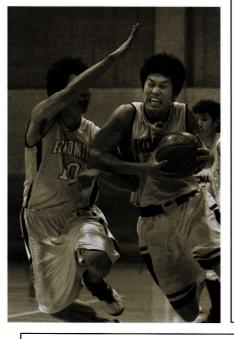
関東大学バスケットボール リーグ戦

昨年入替戦で敗れ、3部に降格してから一年。今季リーグ戦、現在7勝1敗と2部復活に向け着々と勝ち星を重ねている。この背景には、選手一人ひとりが練習を通し、課題であったディフェンスの強化に取り組んできたことにある。

これが成果として表れたのが、前節駒大に初黒星を与えた相手・東洋大との第6節。「チームが一丸となり、ゲームに集中して臨んでいた」と、片貝尚(営4)が語ったように、序盤から各選手が終始試合に集中し、安定したプレーをみせる。課題のディフェンスもマークを徹底し、相手に隙を与えない。オフェンスでも神沢の6本の3Pを筆頭に、各選手それぞれが爆発的なシュート力を誇った。その結果ダブルスコアと大差をつけ圧勝。課題を克服すると共に、敗戦の悔しさを引きずらず、逆にそれをバネに変える強さを披露した。

しかし一方で23、24日の対東経大との試合を始めとし、リーグの半分以上の試合で、依然として改善しきれてない課題が見えてきた。それは、ゲームの出だしやオフェンスでのミスの多さである。「次節からはますます厳しい戦いになる」と牧野茂監督の言葉が示すように、これからのリーグ後半戦では駒大と同じく1敗、更には全勝を守っているチームとの対戦が控えている。実力が均衡しているだけに少しの油断やミスは許されない。

(久保田円香)



リーグ戦 戦績

1節〇駒大 117-65 東大

2節〇駒大 108-60 東大

3節〇駒大 105-55 国際武道大

4節〇駒大 99-63 国際武道大

5節●駒大 89-94 東洋大

6節〇駒大 141-67 東洋大

7節〇駒大 77-58 東経大

8節〇駒大 88-77 東経大

気迫あるプレーでゴール前に攻め込む#5片貝・写真右(久保田円香撮影)

4年生意地見せ 1部で最後を飾る

秋季関東学生卓球リーグ

春3位の勢いそのままに、秋季リーグ戦に臨んだ卓球部。だが結果は、予想外の最下位に終わった。

田中満雄(政4)、伊東伸也(政4)、藤本雄大(商4)や、この秋で勇退する仁王 聖雄監督にとって最後となる大事な戦い。しかし埼工大との開幕戦を逆転負けで 落とすと、その後も連敗をし、悪い流れに完全に飲み込まれたように見えた。だが 春ストレート負けを喫した早大との一戦、V候補を崖っぷちまで追い詰め、底力を 見せた。これでチームの雰囲気は良くなるも、最下位争いとなった中大との最終 戦に競り負け、大正大との入替戦に回ることとなった。

迎えた大一番、田中、藤本が続けて負けるも意地を見せたのが伊東。田中と組んだダブルスを制すると、続くシングルスも勝ちを収め、有終の美を飾った。伊東の活躍が大きく貢献し、大正大を4対2で下し1部残留を決めた。

1部昇格やインカレベスト4、今春巻き起こした駒大旋風などの原動力となった4年生トリオ、仁王監督は栄光の1部という舞台で引退を迎えた。 (岩下隼)

←4年生としてチームを支えた 伊東(藤田漠撮影)



駒大スポーツオールラウンド担当は体育会 に所属している様々な部活動を取材し、紙 面編集を行っています。

駒大スポーツ HP はこちら↓

HP: http://www.komaspo.com/ 携带: http://www.komaspo.com/

いつも駒大スポーツをご愛読いただき、誠にあ りがとうございます。m'Ueバックナンバー等 をごらんになりたい方は下記の連絡先までご連 絡お願いします。

Email komaspoar@yahoo.co.jp

発行責任者:玉造千慧

スタッフ:古田早季、小室真梨子、金野人史、 久保田円香、林雄大、近藤健吾、和田達也、岩 下隼

アイススケート部 秋季リーグ日程

10月

3日(火) 明星大戦 17:30~

10日(火)一橋大戦 16:30~

20日(金) 杏林大戦 15:30~

11月

2日(木)独協大戦 16:30~

10日(金)千葉大戦 13:30~

21日(火) 慈恵大戦 16:30~

30日(木) 武工大戦 14:30~

リンク場所

2日,21日,30日 東大和 10日 東伏見